秋田県鹿角市 ぎかいだより
115号
令和５年２月１日号

常任委員会派遣調査報告

千歳市防災学習交流センター「そなえ～る」

○総務財政常任委員会（北海道千歳市・夕張市）

千歳市では「地域防災」について調査をしました。

千歳市では、災害被害の拡大を防ぐため、また、早期に被害対策を取るためには「自助」と「共助」が必要不可欠であるとして、市民や防災関係機関の防災力を高めることなどを目的に「防災学習交流センター」が整備されています。

この施設においての体験や見学等により、市民の防災意識の向上が図られていること、また、毎年実施される市総合防災訓練では、消防等の防災機関、自主防災組織、これに警察や自衛隊も一同に参加し、互いに協力する訓練で防災意識の向上が図られていました。

夕張市では「財政再生計画の取り組み」について調査をしました。

夕張市では、平成18年に財政が破綻し、地方財政再建促進特別措置法に基づく財政再建計画を経て、財政再生計画を策定し、市の立て直しが行われています。

今回の視察では、破綻した経緯や計画の策定事務の要となった事項、法の下での財政再生を行うために取り組んでいる内容などを確認しました。

財政再生計画の基本方針により、高齢者の暮らしや子育て・教育分野への配慮をしつつ、約372億円を令和８年度までに返済するため、市民生活に必要な最小限の事務事業以外は原則廃止、市税や受益者負担の増額と徴収率の向上対策により歳入を確保していることが印象的でした。

（派遣委員）
館花一仁　中山一男　栗山尚記
戸田芳孝

○教育民生常任委員会（京都府京都市・綾部市）

京都市では、本市のカーボン・ニュートラル達成に向けた取り組みを加速させるため「バイオガス化施設の運営並びに関連事業」について調査をしました。

バイオガス発電は、生ごみなどの有機物を微生物の力で分解してガスを発生させ、そのガスでエンジンを稼働し発電する方法です。

ごみ焼却場にバイオガス化施設を併設し、水分含有量の多い生ごみを取り出すことで、ごみの焼却効率とエネルギー回収効率の最大化を実現しています。

また、発電した電力は施設運営に利用し、余剰分を売電し新たな財源を確保することで、市民に還元していました。

京都市南部クリーンセンター

綾部市では、本市の喫緊の課題である、地域医療体制の確保に向けて、健康意識の向上と未病対策として「コミュニティナース事業」を調査しました。

綾部市のコミュニティナース事業は、健康づくりと地域づくりを掛け合わせた事業です。

綾部市においても人口減少や少子高齢化が進行しており、社会的なつながりが希薄になっています。このことは、認知機能の低下や周囲から体調の変化に気づいてもらいにくいといったデメリットがあります。

医療専門職員が積極的に地域に介入して信頼関係を確保し、地域のつながりでお互いを支え合う体制を構築しながら、暮らしや生きがいなどを地域住民と一緒に見つけることを目指していると説明を受けました。

地域コミュニティの希薄化は住民の健康にも影響をおよぼすことに危機感を覚えました。

（派遣委員）
金澤大輔　浅石昌敏　黒澤一夫
兎澤祐一　湯瀬誠喜　湯瀬弘充

編集後記

令和４年は、８月の大雨災害や新型コロナウイルスの蔓延、物価の高騰など、私たちの日常生活に暗い影を落としました。

一方で、市制施行50周年を迎え、毛馬内の盆踊を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、嬉しい出来事もありました。

議会広報委員会が主催する、市民の皆さんとの意見交換の機会も、新型コロナウイルスの影響により２年間開催できておりません。

今後は、より多くの方から、いろいろな手法でご意見やご要望を頂戴する機会を積極的に設けながら市政に反映させていきたいと考えています。

（成田哲男）

議会広報委員会
委員長　金澤　大輔
副委員長　成田　哲男
委　員　児玉　悦朗
湯瀬　誠喜
湯瀬　弘充

発行　鹿角市議会
編集　議会広報委員会
印刷　米代新報社

〒018-5292　TEL 0186-30-0280
秋田県鹿角市花輪字荒田４番地１
✉gikai@city.kazuno.lg.jp